

## PIMCO新興国ハイインカム債券ファンド(1年決算型)

追加型投信/海外/債券

## 交付運用報告書

第5期(決算日2024年7月25日)

作成対象期間(2023年7月26日~2024年7月25日)

## 第5期末(2024年7月25日)

基準価額	15,167円
純資産総額	1,126百万円
第5期	
騰落率	17.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「PIMCO新興国ハイインカム債券ファンド(1年決算型)」は、2024年7月25日に第5期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

&lt;644803&gt;

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

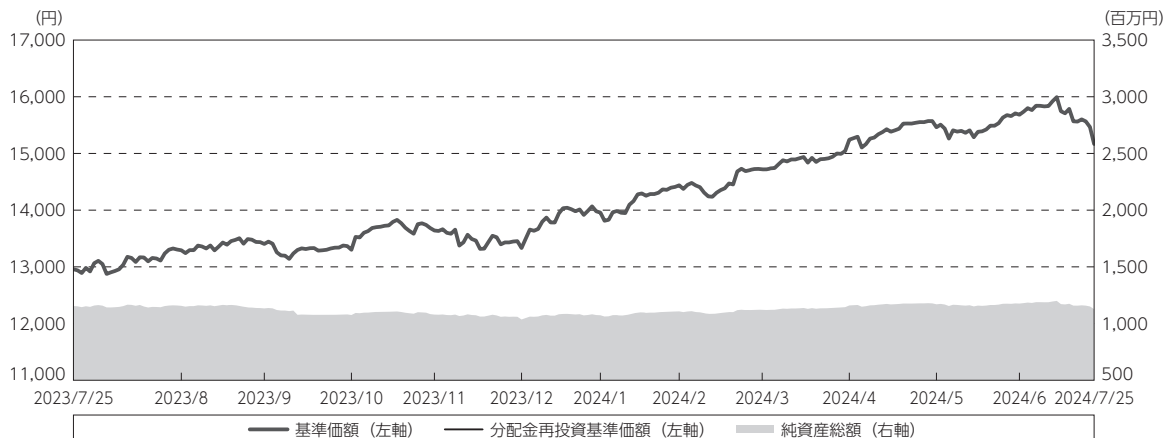
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404  
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2023年7月26日～2024年7月25日)



期首：12,958円

期末：15,167円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：17.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年7月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・新興国高利回り社債および新興国高金利通貨からインカム収入を得たこと。
- ・新興国高利回り社債のスプレッド（利回り格差）が縮小したこと。
- ・新興国通貨が上昇したこと。
- ・対アメリカドルで円安が進行したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・米国国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。

## 1万口当たりの費用明細

（2023年7月26日～2024年7月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	238	1.683	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(140)	(0.990)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 93)	(0.660)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.100	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	( 13)	(0.096)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	252	1.783	
期中の平均基準価額は、14,116円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

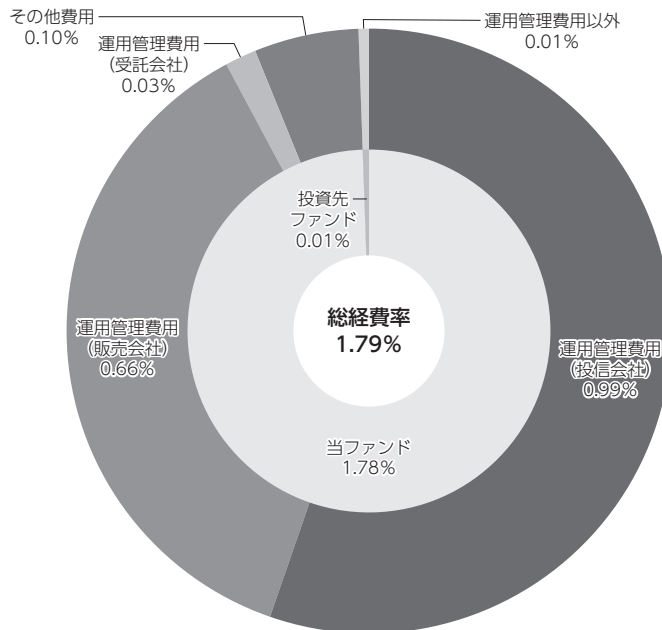
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.79
①当ファンドの費用の比率	1.78
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2019年7月25日～2024年7月25日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2019年8月1日です。

	2019年8月1日 設定日	2020年7月27日 決算日	2021年7月26日 決算日	2022年7月25日 決算日	2023年7月25日 決算日	2024年7月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,582	10,649	11,008	12,958	15,167
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 4.2	11.1	3.4	17.7	17.0
純資産総額 (百万円)	50	2,672	2,018	1,206	1,154	1,126

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年7月27日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

(2023年7月26日～2024年7月25日)

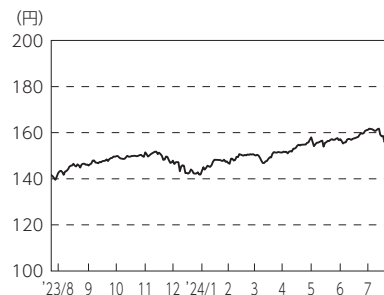
## (債券市況)

期間の前半は、米国の金融引き締め長期化への懸念から米国金利上昇とアメリカドル高が進行したことなどがマイナス要因となったものの、米国FOMC（連邦公開市場委員会）で政策金利見通しが引き下げられたことなどを受けて早期利下げ観測が浮上したことなどがプラス要因となり、上昇しました。期間の後半は、中東情勢の緊迫化や欧州議会選挙の結果を受けた政治不安の高まりなどがマイナス要因となったものの、米国の早期利下げ期待の高まりや中国不動産市場に対する支援策の発表などがプラス要因となり、上昇しました。期間を通じては、新興国高利回り社債市場（アメリカドルベース）、新興国高利回り通貨は上昇しました。

## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年7月26日～2024年7月25日)

## (当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

## (新興国ハイインカム債券マザーファンド)

主として、バミューダ籍外国投資信託「PIMCOバミューダエマージングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンドA グラスN (USD)」および「PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドN (USD)」の保有を通じて新興国の高利回り社債や高金利通貨に投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないました。投資している各ファンドのポートフォリオでは、以下の運用を行ないました。

## 「PIMCOバミューダエマージングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンドA クラスN (USD)」

ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が良好な国の企業の中でも、安定したキャッシュフローと国際競争力を有し、バリュエーション（価値評価）上の魅力がある企業を選好しました。具体的には、資源価格の上昇から恩恵を受けることが期待されるモロッコなどを積極姿勢としました。一方、利回り面での魅力が乏しいことなどを踏まえフィリピンやアラブ首長国連邦などを消極姿勢としました。

## 「PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドN (USD)」

各国の財政状況などのファンダメンタルズに基づき、投資対象国を選別しました。具体的には、政府や中央銀行の政策転換により、経済の安定が期待されるトルコリラなどを積極姿勢としました。一方、景気の停滞が懸念される中国人民元などを消極姿勢としました。

### 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年7月26日～2024年7月25日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### 分配金

(2023年7月26日～2024年7月25日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

#### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第5期
	2023年7月26日～ 2024年7月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,215

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### （新興国ハイインカム債券マザーファンド）

世界経済については、米国を除いて多くの先進国では景気が停滞傾向にある一方で、米国は他の先進国に比べて堅調さを維持しており、他の地域とは一線を画しています。また、世界的にインフレが沈静化する一方、米国では相対的に高い成長率を維持しているなかでインフレは粘着性を保っており、しばらくは政策目標を上回る水準で推移すると予想しています。金融政策については、ECB（欧州中央銀行）は2024年6月に利下げを開始しており、BOE（イングランド銀行）による利下げ開始も近いとみている一方、米国FRB（連邦準備制度理事会）による利下げの開始は年末となる可能性が高いとみえています。

新興国諸国は、先進国に比べて全体的に対GDP（国内総生産）での債務比率が低くバランスシートの安定性が保たれていることはサポート材料です。また、多くの新興国諸国では先進国に先行して利上げを実施してきたことなどから、一部の国を除いてインフレは落ち着きを見せています。また中国の景気減速が懸念されるものの、過去に比べて新興国諸国全体は中国の景気の影響を受けにくくなっている状況です。なお、2024年は新興国諸国の多くの国で選挙が実施されることから個別国の政治動向に注視するほか、米国大統領選挙に伴う不確実性の高まりによる新興国への影響にも注意が必要であると考えます。

このような環境下、新興国高金利通貨においては、政府や中央銀行の政策転換により、経済の安定が期待されるトルコリラなどを積極姿勢とします。一方、財政黒字化の目標が下方修正され、財政懸念が強まるブラジルレアルなどを消極姿勢としています。新興国高利回り債券においては、グローバルな産業動向も考慮しつつ、個別国間の差異に注目した選別投資が今後も重要であると考えます。さらに、ファンダメンタルズが良好な国の企業の中でも、安定したキャッシュフローと国際競争力を有し、バリュエーション上の魅力がある企業を選好します。具体的には、資源価格の上昇から恩恵を受けることが期待されるモロッコなどを積極姿勢とします。一方、利回り面での魅力が乏しいことなどを踏まえアラブ首長国連邦などを消極姿勢とします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



## お知らせ

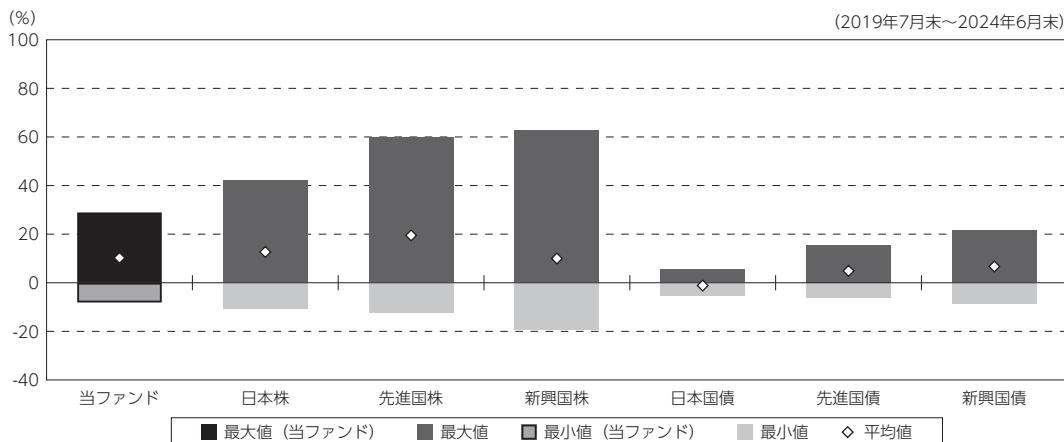
2023年7月26日から2024年7月25日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2019年8月1日から2029年7月25日までです。	
運用方針	主として、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	PIMCO新興国ハイインカム債券ファンド（1年決算型）	「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	新興国ハイインカム債券マザーファンド	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の高利回り社債や高金利通貨を主要投資対象とする投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資信託証券の合計組入率は、高位を保つことを原則とします。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	28.9	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△ 8.1	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	10.3	12.7	19.5	10.0	△ 1.2	4.9	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年7月から2024年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年8月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

（2024年7月25日現在）

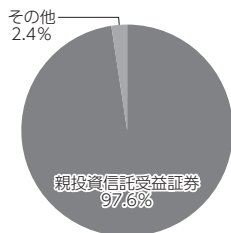
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
新興国ハイインカム債券マザーファンド	97.6%
組入銘柄数	1銘柄

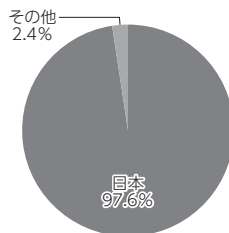
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

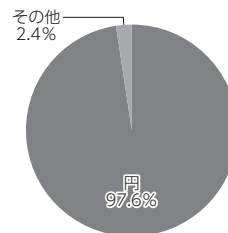
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第5期末
	2024年7月25日
純資産総額	1,126,936,807円
受益権総口数	743,008,993口
1万口当たり基準価額	15,167円

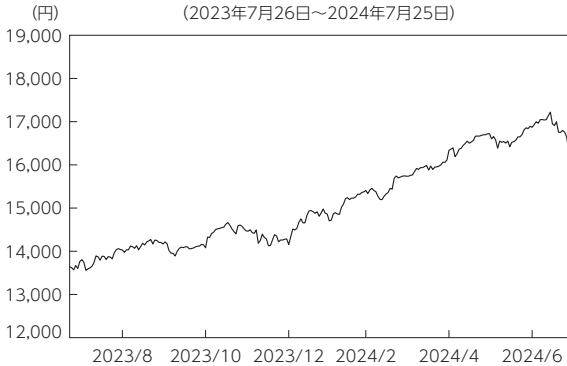
（注）期中における追加設定元本額は16,655,518円、同解約元本額は164,621,511円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 新興国ハイインカム債券マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年7月26日～2024年7月25日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月26日～2024年7月25日)

該当事項はございません。

## 【組入上位ファンド】

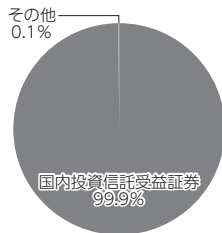
(2024年7月25日現在)

銘柄名	第5期末 %
PIMCOパミューダエマージングマーケットハイールドコーポレートボンドファンドAクラスN(USD)	50.2
PIMCOパミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドN(USD)	49.7
組入銘柄数	2銘柄

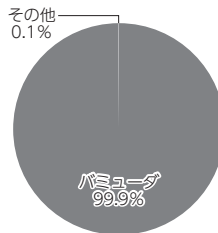
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

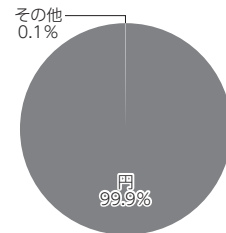
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

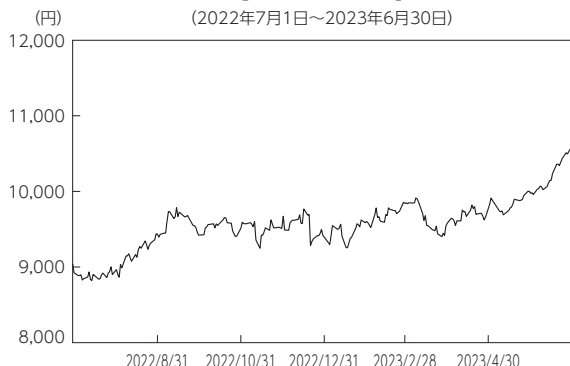
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ PIMCOバミューダエマージングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンドA クラスN (USD)

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月1日～2023年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

(2023年6月30日現在)

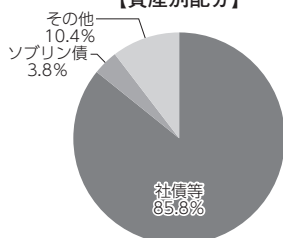
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Sands China Ltd. 5.625% due 08/08/2025	社債等	アメリカドル	ケイマン諸島	2.0%
2	Wynn Macau Ltd. 5.500% due 01/15/2026	社債等	アメリカドル	ケイマン諸島	1.9%
3	Stillwater Mining Co. 4.000% due 11/16/2026	社債等	アメリカドル	米国	1.8%
4	QNB Finansbank A/S 6.875% due 09/07/2024	社債等	ユーロ	トルコ	1.8%
5	Studio City Co. Ltd. 7.000% due 02/15/2027	社債等	アメリカドル	英領バージン諸島	1.7%
6	Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT 3.750% due 03/30/2026	社債等	アメリカドル	インドネシア	1.5%
7	Teva Pharmaceutical Finance Netherlands II BV 3.750% due 05/09/2027	社債等	ユーロ	オランダ	1.5%
8	Medco Oak Tree Pte Ltd. 7.375% due 05/14/2026	社債等	アメリカドル	インドネシア	1.5%
9	Ecopetrol S.A. 5.875% due 05/28/2045	社債等	アメリカドル	コロンビア	1.5%
10	BBVA Bancomer S.A. 5.125% due 01/18/2033	社債等	アメリカドル	メキシコ	1.5%
組入銘柄数			177銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

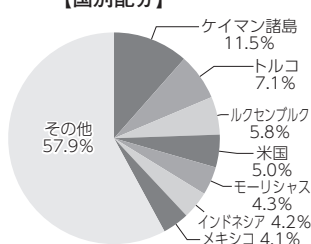
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

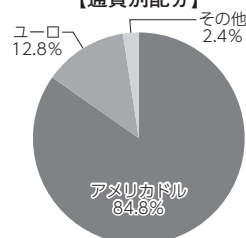
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



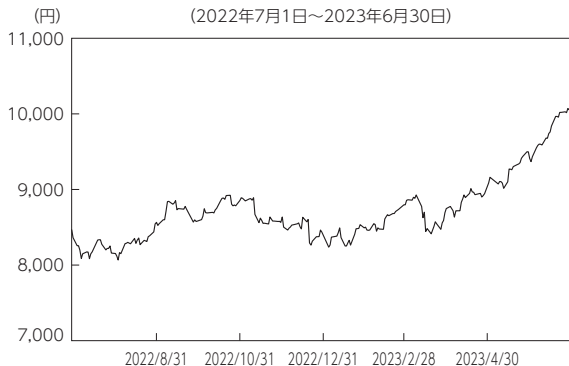
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※実質的な運用を行なっている、PIMCOバミューダエマージングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンド(M)の情報です。

— <ご参考> PIMCOバリュエーション・ダエマージング・カレンシー・ハイインカムファンドN（USD） —

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月1日～2023年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

(2023年6月30日現在)

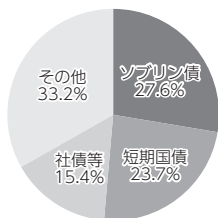
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	米国財務省短期証券 5.335% due 09/26/2023	短期国債	アメリカドル	米国	15.0%
2	イスラエル短期国債 4.701% due 01/03/2024	短期国債	イスラエルシェケル	イスラエル	4.4
3	ハンガリー短期国債 15.998% due 07/06/2023	短期国債	ハンガリーフォリント	ハンガリー	4.3
4	Swiss Insured Brazil Power Finance Sarl 9.850% due 07/16/2032	社債等	ブラジルレアル	ブラジル	3.4
5	Israel Government Bond 0.150% due 07/31/2023	ソブリン債	イスラエルシェケル	イスラエル	3.4
6	Eskom Holdings SOC Ltd. 7.850% due 04/02/2026	社債等	南アフリカランド	南アフリカ	2.6
7	Malaysia Government International Bond 3.800% due 08/17/2023	ソブリン債	マレーシアリンギット	マレーシア	2.5
8	Mexico Government International Bond 5.000% due 03/06/2025	ソブリン債	メキシコペソ	メキシコ	2.1
9	Dominican Republic International Bond 13.625% due 02/03/2033	ソブリン債	ドミニカペソ	ドミニカ共和国	1.5
10	Czech Republic Government Bond 0.250% due 02/10/2027	ソブリン債	チェココルナ	チェコ共和国	1.4
組入銘柄数				79銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

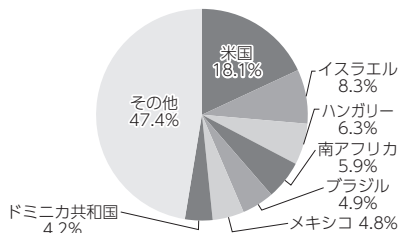
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

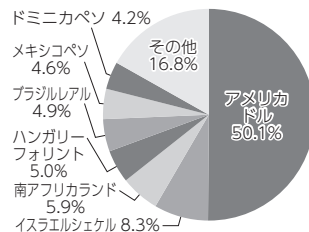
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※実質的な運用を行なっている、PIMCOバリュエーション・ダエマージング・カレンシー・ハイインカムファンドN（USD）の情報です。